

## 令和元年度 第9回教育研究評議会議事要録

日時 令和元年12月12日（木）14:00～16:00  
場所 事務局第1会議室  
出席者 三村学長，尾崎理事，太田理事，鳥羽田理事，佐川副学長，折山副学長，  
内田人文社会科学部長，荒川教育学部長，田内理学部長，増澤工学部長，  
戸嶋農学部長，木村図書館長，栗原全学教育機構長，小林評議員，田中  
評議員，蓮井評議員，小野寺評議員，瀧澤評議員，岡田評議員，金評議  
員，乾評議員，梅比良評議員，大久保評議員，福興評議員

### 議 題

#### 審議事項

- 1 人事給与マネジメント改革による新たな教員業績評価の導入について
- 2 海外拠点協定締結について
- 3 令和2年度追加配分ポイント（教員昇進）について
- 4 教員の休職について
- 5 その他

#### 報告事項

- 1 「茨城における高等教育の在り方に関するシンポジウム」の開催について
- 2 茨城大学シラバスガイドについて
- 3 国立大学法人茨城大学旅費規程の一部改正について
- 4 その他

## 議 事 概 要

### I 審議事項

- 1 人事給与マネジメント改革による新たな教員業績評価の導入について  
学長から，審議願いたい旨の提案があり，さらに，尾崎理事及び佐川副学長から資料1および机上配布資料に基づき説明があった。規程案について各学部において意見をまとめ，それを元に全学人事委員会，ワーキング等にて検討をしたうえで，令和2年1月に制定を目指すこととなった。

#### 【主な意見】

- ・給与への反映だけではなく，表彰や研究費のプラス等，モチベーションを向上させる方法を考える必要があるのではないか。
  - ・年に1度の評価で，2回のボーナスと1回の昇給の評価が決まるのは柔軟性に欠けるのではないか。
  - ・評価を行うための面談業務はかなりの負荷がかかる。1月～2月という多忙な時期に作業期間をあてるのではなく，別の期間にすべきではないか。
- 2 海外拠点協定締結について  
学長から，審議願いたい旨の提案があり，さらに，太田理事から資料2に基づき説明があり，審議の結果，提案のとおり了承された。

- 3 令和2年度追加配分ポイント（教員昇進）について  
学長から、審議願いたい旨の提案があり、さらに、資料3に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。
- 4 教員の休職について  
学長から、審議願いたい旨の提案があり、さらに、工学部長及び全学教育機構長から資料4に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。
- 5 その他  
・令和2年度「成果を中心とした実績状況に基づく配分」に用いるデータ等の提出について  
学長から、説明願いたい旨の提案があり、さらに、財務課長及び佐川大学戦略・IR室長から資料その他に基づき説明があった。

## II 報告事項

- 1 「茨城における高等教育の在り方に関するシンポジウム」の開催について  
学長から、資料5に基づき報告があった。
- 2 茨城大学シラバスガイドについて  
太田理事から、資料6に基づき報告があった。
- 3 国立大学法人茨城大学旅費規程の一部改正について  
財務部長から、資料7に基づき報告があった。
- 4 その他  
無し

## III 監事からの意見

- ・教員業績評価案について、丁寧なプロセスを経て策定されていると感じる。処遇への反映となると議論は尽きないが、合意を目指して1月中に制定できるよう進めてほしい。

## IV その他 無し

次回 教育研究評議会開催  
1月17日（金） 10時00分から